

## 質問への回答①

### 【質問】

復旧にはどのくらいの時間がかかるのでしょうか？また、その間の生活や必要な仕組みづくりはどのように行われるのでしょうか？（さぬき市いきいきネット連絡協議会）

### 【回答】

災害の規模によって異なりますが、さぬき市に津波被害と地震による被害両方があった場合には、沿岸の地域のライフラインである上下水道や電気の復旧については、電気は比較的早く復旧するかと思いますが、上下水道については半年から1年以上かかる場合があると思います。

特に津波被害が大きいと、現実には東日本大震災では、計画作成から始まって護岸工事終了後に住家が建設できるようになる人もいましたし、別の土地への移住せざるを得なかった人もいます。または、復興公営住宅への入居などを選択するなど、人によって様々な選択肢がありました。

このように、被害次第では早急に復旧する場合もありますが、地震の規模しだいではさらに遅れるものと考えられますので、その間の生活については「応急仮設住宅」への入居や、「みなし仮設住宅」（民間賃貸住宅への入居）などで、当面の間は暮らすことになります。

通常、応急仮設住宅等への入居期間は2年ほどですが、高台への防災集団移転をする場合には、山を切り開いたりする土地の造成から行うので、石巻市では最長5年ほどの仮住まいをした方もいらっしゃるのが現状でした。

この暮らしを支えるために、行政から委託された「ささえあいセンター」事業で、社会福祉協議会が見守りや声がけなどを行っています。復興公営住宅への入居後も続けられ、あれから14年以上も経過していますが、職員数は減ってはいるものの今でも事業を継続しています。